

Q コミュニティバス継続運行の理由と利用者の反応、運行上の課題は。

A 継続運行の理由はデマンド試験運行を本年度から3年間行うため。利用状況の変化、対象地域の意見など多くの情報を収集し、令和5年度以降の運行について公共交通会議で協議することが承認されている。課題としては、利用の仕方がわからない、電話による予約に抵抗がある、病院の終了時間が分からないため予約ができない等の意見があるが、意見をもとに協議し来年度以降の運行に努めていく。

Q 東館管理委託料の入札差額は、もっと早い時期に減額すべきではないか。

A 東館管理委託料を管理委託に関わる東館全体の予算としてみた場合に、東館は令和2年3月から新たに供用開始した施設であり、実際に管理

運営していく中で総合管理業務以外に必要な業務や新型コロナウイルス感染症対策、花壇の植栽管理等新たに委託業務が発生するのを見定めていたため、この時期の補正となった。

Q 小型家電搬入量増加の発生時期は。新型コロナウイルス感染症との関連はあるのか。ごみを資源化する事業の見通しと市民への周知は。

A 環境保全センターへ持込まれる小型家電の収集量は4



小型家電が積まれたコンテナ

月々6月が昨年度比で約1トン増加。これは新型コロナウイルス感染症対策による巣ごもり生活で、環境資源ギャラリーの家庭ごみが増加した時期と一致することから、少なからず影響があったのではないかと推察。小型家電は今年度約14トン程度の回収を見込んでいます。容器包装などのリサイクル率が減少傾向となっているので、さらなるリサイクル意識・文化の醸成を進めていく。

Q GIGAスクール構想整備事業で、小学校3年生以上は家庭への持ち帰ってどのように使うのか。電源キャビネットが60台から30台へ減った理由は。

A 活用方法は研究、協議中であるが、タブレットに動画等の資料を入れて持ち帰り、資料等を見た感想や自分の考えをまとめ、授業に活用する使い方を想定している。保護

者向け配布物を紙で配らずにタブレットで確認していただくことや、保護者や児童生徒向けの調査をタブレットで行うことも想定。充電用保管庫の電源キャビネットは、端末台数全てが保管できる60台で計画したが、小学校3年生以上はタブレット型端末を持ち帰り、家庭での充電を基本とするため、持ち帰らない小学校1・2年生分の電源キャビネット数30台に減らした。



タブレットを使用した授業のようす